

令和 6 年度 第 1 回豊田市博物館運営協議会

日 時 令和 6 年 8 月 6 日 (火)
午前 10 時 30 分～正午
場 所 豊田市博物館 ミニホール

次 第

- 1 博物館長 あいさつ
- 2 博物館、運営協議会について概要説明 資料 1
- 3 会長選出
- 4 議 題 (1) 博物館の開館後の利用状況等について 資料 2
(2) 令和 6 年度の展覧会事業について 資料 3
- 5 事務局から連絡
- 6 博物館常設展視察

博物館運営協議会について

博物館法(昭和二十六年 法律第二百八十五号) 抜粋
(博物館協議会)

第二十三条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第二十四条 博物館協議会の委員は、地方公共団体の設置する博物館にあつては当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会(地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和三十一年法律第百六十二号)第二十三条第一項の条例の定めるところにより地方公共団体の長が当該博物館の設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされている場合にあっては、当該地方公共団体の長)が、地方独立行政法人の設置する博物館にあつては当該地方独立行政法人の理事長がそれぞれ任命する。

第二十五条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、地方公共団体の設置する博物館にあつては当該博物館を設置する地方公共団体の条例で、地方独立行政法人の設置する博物館にあつては当該地方独立行政法人の規程でそれぞれ定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

豊田市博物館条例(令和5年6月30日 条例第50号) 抜粋

第18条 博物館法第25条の規定により、博物館に豊田市博物館運営協議会(以下「運営協議会」という。)を置く。

2 運営協議会は、委員10人以内をもって組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

(1) 学校教育の関係者

(2) 社会教育の関係者

(3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者

(4) 学識経験を有する者

(5) 市民、地域、企業等との連携に資する活動を行う者

(6) 公募による市民(市内に居住し、通勤し、又は通学する個人をいう。)

4 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

5 前項本文の規定にかかわらず、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

豊田市博物館運営協議会事務要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、豊田市博物館条例（令和5年条例第30号。以下「条例」という。）及び豊田市博物館管理規則（令和5年規則第81号。以下「規則」という。）に定めるもののほか、豊田市博物館運営協議会（以下「協議会」という。）に関し、必要な事項を定める。

(協議内容)

第2条 協議会は、次の各号に掲げる事項を協議する。

- (1) 博物館の取組む展覧会や普及啓発等の事業に関すること。
- (2) 施設の利用及び運営に関すること。
- (3) その他、博物館からの諮問事項

(会長の職務代理)

第3条 会長が不在の場合は、会長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(会議への委員以外の者の出席)

第4条 協議会は、必要に応じて委員以外の者に会議への出席を求め、意見を聞くことができる。

(会議の公開)

第5条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、原則として公開とする。ただし、豊田市情報公開条例第7条各号に定める非公開情報を扱う場合又は会長が非公開とすることが適当と判断した場合は、会議の全部又は一部を非公開とすることができる。

2 会議の公開は、豊田市ホームページ等により周知する。

3 会議の傍聴は、会場の都合等により事務局があらかじめ定める人数の範囲内において、受付順で傍聴を認める。

4 次の各号のいずれかに該当するものは、会場への入場及び傍聴を認めないものとする。

- (1) 人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれのある物を携帯している者
- (2) 酒気を帯びていると認められる者
- (3) ビラ、プラカード、旗の類を携帯している者
- (4) その他、会議の円滑な進行を妨げると認められる者

(会議録)

第6条 協議会の議事については、会議録を作成する。

2 前項の会議録には、会長及び出席した委員1名が確認する。ただし、会長が不在の場合は、第3条に定める代理人及び出席した委員1名が確認する。

3 会議録は、前項の確認後に、豊田市ホームページに掲載する等一般の閲覧に供することができるものとする。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、博物館副館長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和6年6月1日から施行する。

令和6・7年度 豊田市博物館運営協議会委員

◇委員

(敬称略・50音順)

氏 名	区 分
北村 和宏	学識経験者（文化財保護審議会委員）
釘宮 順子	市民活動、家庭教育（フリースペースK）
黒澤 浩	学識経験者（南山大学）
西塔 隆	市民公募
柴田 みどり	学校教育（朝日小学校長）
新美 倫子	学識経験者（名古屋大学）
布垣 直昭	社会教育（トヨタ博物館）
平野 敬一	地域との連携（小坂自治区区長）
深谷 暢樹	市民公募

◇事務局

氏 名	所 属 ・ 役 職
森 泰通	美術・博物館 部長
田境 志保	美術・博物館 副部長
村田 眞宏	博物館館長
高橋 健太郎	博物館副館長
鈴木 なつみ	博物館 副主幹
倉林 重幸	博物館 担当長
伊藤 圭一	博物館 担当長
駒野 雅彦	博物館 主任主査（教員）

博物館の組織について

<経緯>

- ・令和6年度、美術・博物館が設置され、博物館・美術館・文化財課の3課で、以下の施設を所管している。

<組織目標>

- ・豊田市博物館開館とミュージアム施設の連携強化
- ・郷土の歴史・文化・自然を守り伝え、活かすための事業推進
- 組織編成



開館後の実績報告（令和6年4月～6月）

1 入館者数・施設利用者数

(1) 常設展観覧者

	無料			有料		合計
	市民	減免・招待	小中学生	一般	高大生	
4月	3,482	2,569	742	1,313	65	8,171
5月	9,128	966	3,020	4,870	252	18,236
6月	5,010	781	2,913	3,913	382	12,999
合計	17,620	4,316	6,675	10,096	699	39,406
日平均	309	76	117	177	12	691

* 令和6年4月26日開館。観覧者には4月25日内覧会も含む。

(2) 施設利用者

	セミナールーム	体験室	むかしの家	みんなの研究室	カフェ	ショップ	合計
4月	250	70	376	624	1,222	744	3,286
5月	1,564	1,508	1,120	1,963	3,562	1,358	11,075
6月	1,888	1,838	8,911	1,068	3,116	964	17,785
合計	3,702	3,416	10,407	3,655	7,900	3,066	32,146

* むかしの家は5月28日よりイベント以外の見学者数もカウント。

2 教育普及事業・パートナー連携事業

(1) 開館

・開館式・内覧会 4月25日 1,051人

木遣り音頭披露（豊田木遣り保存連合会：団体パートナー）他

・シャトルバス運行（一般社団法人 TCCM）4月26日～5月6日 1,505人利用

(2) マスコミなど掲載実績

新聞	9社22回	テレビ	2社3回
雑誌	8社9回	WEB	2社2回
フリーペーパー	5社6回		

(3) 主催事業

・講演会

坂茂講演会 4月29日 250人

・ワークショップ 合計 284人

まゆころ工作 6月8日 55人（参加費100円）

化石取り出し体験 6月9日 80人（参加費500円）

川砂から宝石を探そう 6月22日 80人（参加費100円）

拓本体験 6月23日 69人（参加費100円）

・鎧を着てみよう 5月3日、4日 96人

・マルシェ（美術館共催） 5月4日 1,842人、5月5日 1,896人

・ペーパーサンクチュアリ（企画（株）坂茂建築設計） 4月26日～5月26日

（４）とよはくパートナー等連携事業

・えんにち空間等展示

拳母まつり山車展示（大神明山車囃子保存会・拳母祭り保存会）

4月26日～5月17日

わたしが集めた拓本（個人パートナー）

4月26日～6月2日

愛石クラブ展示（愛石展示会）

4月26日～29日

豊田の木が博物館になるまで（西垣林業株式会社）

4月26日～6月30日

環境にやさしいスローモビリティ（豊田鉄工株式会社）

4月26日～6月30日

アートフレンド活動紹介（アートフレンド）

5月21日～6月2日

おめでとう！五平餅さん桶茶さん。（とよた五平餅学会、いなぶ桶茶茶温会）

5月26日

豊田市の自然（豊田市自然愛護協会）

6月4日～9月1日

とよトリ隊展示（とよトリ隊）

6月4日～16日



・イベント

	団体名	内容	実施日	参加人数
1	小原ペーパーアートファンクラブ	工作	4月27日・28日	39
2	きたら合唱部	コンサート	4月28日	160
3	篠笛ユニット	コンサート	4月29日	216
4	アートフレンド	博物館美術館ツアー	4月29日	31
5	ゆめぱレット	パズル体験、童話の読み聞かせ	5月3日・4日 6月22日・23日	472
6	平和町おもちゃの会	工作	5月3日、6月29日	240
7	Toyota コンシルジ	射的など	5月4日	100
8	アマチア無線サポーターズ	無線体験	5月5日	300
9	ディンプルアートとよた	工作	5月25日・26日	200
10	とよた M ケアの会	コンサート	5月26日	25
11	旭で和紙作り	工作	6月2日	20
12	シェア Bon	工作	6月16日	36
合計				1,839人

(3) 個人パートナー活動状況

- A 博物館の楽しみ方ガイドグループ 延べ 188 人、研修 1 回 (40 人)
* 土日祝日の常設展ガイド、ガイドを行ってみたいの意見交換会
- B 自然体験グループ 活動日 4 日 延べ 97 人、研修 1 回 (25 人)
* 観察池・どんぐりの森整備、体験ゾーン外来種除去作業、各分野の定期調査
- C 博物館学習グループ (博物館学習支援等)
学校見学 34 校 延べ 296 人、その他 延べ 53 人、研修 1 回 (59 人)
* 博物館学習における学校対応、各種講座の支援
- D 博物館の環境維持グループ 活動日 5 日 延べ 48 人、研修 1 回 (20 人)
* 害虫トラップや温湿度調査など、博物館の資料保存環境を維持する活動
- E あつめるプロジェクトグループ 延べ 65 人、研修 1 回 (12 人)
* 記憶コーナーでのガイド、記憶コーナーの追加 (展示替え 1 回)、意見交換会

3 博学連携事業

(1) 博物館学習

・アクティブ・ラーニングツアー 6 月までに 41 校 2,716 人の小中学生が利用

年度	博物館	遺跡見学等	出前授業	貸出	総計
R 6	41 校	70 校	0 校	27 校	138 校
5~6 月	2,716 人	4,013 人	0 人	3,932 人	10,661 人

* 学校数、人数は延べ人数

(参考)

年度	博物館	遺跡見学等	出前授業	貸出	総計
R 5	-	67 校	87 校	159 校	313 校
	-	2,930 人	6,658 人	17,384 人	26,972 人

(2) その他学校見学等

- ・童子山小学校 展示室見学 115 人
- ・朝日丘中学校 展示室見学 288 人
- ・トライ式高等学院豊田キャンパス 展示室見学 15 人
- ・井上小学校 展示室見学 102 人

(3) 学校との連携事業 (研修等)

- ・童子山小学校 教職員研修の実施 34 人
- ・朝日丘中学校 教職員研修の実施 36 人
- ・豊田市教育研究会 (社会部会) 社会科主任者会の実施 115 人

4 資料管理・貸出等

(1) 資料貸出等

- ・写真貸出 27 件

(2) 学芸員活動実績

- ・高橋健太郎 2024「博物館の次の道」『博物館研究』59-5 (公財) 日本博物館協会
- ・鶴田博嗣 (共著) 2024「矢作川水系における外来魚チャネルキャットフィッシュの現状; 分布情報の確度を考慮した生息域の再検討」保全生態学研究.

- ・鶴田博嗣（共著）2024「愛知県矢作川における外来魚チャネルキャットフィッシュ生息の再確認」伊豆沼・内沼研究報告. No.18,71-85.

◆参考：R5 年度実績

（1）市民周知活動

- ・WE LOVE とよたフェスタ（10月1日、スカイホール） 584人 ほか
- ・映像制作 はくぶつChan 1回
- ・ホームページ制作・公開、SNS（Instagram）運用

（2）とよはくパートナー登録状況等

個人パートナー 167人、団体パートナー 73団体（令和5年度末）
個人パートナー全体説明会 1回、全体研修 2回
グループ別研修 A 5回、B 1回、C 2回、D 2回、E 1回

（3）あつめるプロジェクト

- ・自然標本あつめるプロジェクト、記憶あつめるプロジェクト
活動回数 38回 活動参加者数延べ 601人

（4）どんぐりの森プロジェクト

子どもたちが育てたどんぐりの苗を博物館庭に植樹。
・参加校延べ 62校 参加人数延べ 2,748人

（5）資料貸出等

- ・資料貸出 4件
- ・資料閲覧 3件
- ・写真貸出 142件
- ・資料修繕 1件
- ・資料購入 25件（岸田吟香が編集した英和辞書『和訳英語連珠』等）

（6）学芸員活動実績

- ・高橋健太郎 2024「縄文時代の台付土器について」『列島の考古学』3 六一書房
- ・倉林重幸 2024「『商家・旧紙屋鈴木家のたしなみの道具』解題」豊田市文化財課編『重要文化財／旧鈴木家住宅民具調査報告書之弐 商家・旧紙屋鈴木家のたしなみの道具』豊田市
- ・倉林重幸「近世後期～明治初期 三河足助地方紙屋鈴木家の茶の湯」（茶の湯文化学会令和5年度大会研究発表、於学習院大学、R5年6月8日）
- ・鶴田博嗣 水循環基本法フォローアップ委員会 講師（R5年4月29日）
豊田市中心図書館 調べる・伝える応援講座講師（R5年8月8日）

（7）刊行物発行

- ・『豊田市博物館調査研究報告第1集 藤岡・小原・足助・下山・旭・稲武の民具』

（8）地域資料館機能移転

- ・足助資料館 令和6年3月31日閉館、足助中馬館内に展示の一部を移設
- ・旭郷土資料館 令和6年3月31日閉館、旭農林会館内に展示の一部を移設

豊田市博物館開館記念展

「旅するジョウモンさんー5千年前の落とし物ー」開催要項

1 開催趣旨

あなたが学校で習った縄文時代はどんな内容でしたか？現在、初めて歴史を勉強し始める小学校6年生で学習する縄文時代の歴史の時間は、わずか2時間にも満たないものです。その後に学習する日本の歴史の中では、小さく扱われてしまいがちな時代ですが、現代社会に至るまでの時間の流れの中でみると、約1万年という長〜く続いた時代でもあります。

その暮らしの中で彼らが落としていったモノ（出土品）は、遺跡や出土品といった形で今の私たちの前に現れ、暮らしぶりや使っていた道具、共に生きた植物や生物までもが分かるようになってきました。また、現在の研究では、縄文人は広範囲に交易網を展開し、ヒト・モノが日本列島全体を行き来していたことが分かっています。

本展覧会では、日本列島を旅した（かもしれない）縄文人（ジョウモンさん）と共に、5千年前の縄文時代がどのような世界であったかの一端を紹介します。

2 開催期間・料金

会期 令和6年10月12日（土）～12月8日（日）

会場 豊田市博物館 展示室1・2

料金 一般 1,200円（1,000円）、高大生 1,000円（800円）

* 中学生以下、市内70歳以上、市内高校生、障がい者及びその介助者は無料。（ ）内は20名以上の団体料金。

3 展示構成・主な展示品

プロローグ ジョウモンさんはこんな人

（1）ジョウモンさんが生きた時代

- ・ 火焰型土器（新潟県・笹山遺跡／国宝）
- ・ 矢作川河床埋没林 ほか

（2）ジョウモンさん、北へ南へーその土地の“流儀”に出会うー

- ・ 円筒上層式土器（青森県・石神遺跡／重文）
- ・ 上山田・天神山式土器（富山県・境A遺跡／重文） ほか

- (3) ジョウモンさん、住むトコロを探すートコロ変わればー
 ・粟津湖底遺跡・入江内湖遺跡・竜ヶ崎 A 遺跡（滋賀県）
 ・前田遺跡編組製品（鹿児島県） ほか
- (4) ジョウモンさんをトリコにしたものーヒスイー
 ・ヒスイ原石（新潟県）
 ・ヒスイ大珠（新潟県・長者ヶ原遺跡） ほか
- (5) ジョウモンさんのココロを見る
 ・板状土偶（青森県・石神遺跡／重文） ほか
- (6) ジョウモンさんはどこへ行った
 ・称名寺式土器（豊田市・水汲遺跡／市指定） ほか
- エピローグ あなたもジョウモンさん

4 関連イベント

- (1) とよはくセミナー
 第1回とよはくセミナー『子どもの学びと縄文時代』 11月9日（土）
 第2回とよはくセミナー『縄文中期の土器とくらし』
 11月30日（土）・12月1日（日）
- (2) 映画上映会
 「掘る女 縄文人の落とし物」上映会&松本貴子監督トークショー
 11月16日（土）
- (3) その他
 ワークショップ「JOMON クッキング！」参加費:1,000円 10月20日（日）
 ほか 開催予定



左 縄文土器 水汲遺跡出土（豊田市博物館）
 右 縄文土器 笹山遺跡出土（十日町市博物館）
 撮影：小川忠博

特別展「和食 ～日本の自然、人々の知恵～」開催要項

1 開催趣旨

「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されて2023年で10年。世界中でますます注目の高まる和食を、バラエティ豊かな標本や資料とともに、科学や歴史などの多角的な視点から紹介します。日本列島の自然が育んだ多様な食材や、人々の知恵や工夫が生み出した技術、歴史の変遷、そして未来まで、身近なようで意外と知らない和食の魅力に迫ります。

2 開催期間・料金

会期：令和7年1月18日(土)～4月6日(日)

観覧料：一般 1,900円(1,700円) 高大学生 1,400円(1,200円)

※()内は前売り及び20名以上の団体料金

※中学生以下、市内70歳以上、市内高校生、障がい者及びその介助者は無料。()内は20名以上の団体料金。

主催：豊田市博物館、中京テレビ放送、朝日新聞社

後援：文化庁、農林水産省、和食文化学会、和食文化国民会議

協賛：三和酒類

特別協力：国立科学博物館

協力：クックパッド

巡回：国立科学博物館、鶴岡アートフォーラム、東北歴史博物館、松本市立博物館、豊田市博物館、京都文化博物館、熊本市現代美術館

3 展示構成・主な展示品

第1章 「和食」とは？(日本、世界の食パネル)

第2章 列島が育む食材(多彩な地ダイコンレプリカ、魚類のレプリカ)

第3章 和食の成り立ち①先史時代～幕末の和食

(織田信長が徳川家康をもてなした本膳料理の再現模型、江戸時代の握りずし・天ぷら・そば屋台)

第4章 和食の成り立ち②開国～戦前、戦後の和食

(天皇の午餐会レプリカ、食べたい作りたい人気検索ワード)

第5章 現代に息づく和食(災害食)

4 関連イベント

ワークショップ：石臼引きなご餅をつくってみよう(仮)	2月9日(日)
チリメンモンスターを探してみよう	2月22日(土)
むかしの道具で料理	3月8日(日)



鶴岡会場の様子